

## もくじ

- ・ かつぱのあまごい

# かつぱのあまごい

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： ちひろ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト



3

むかし むかし、とある もりのなかの  
ちいさいいけに、  
いっぴきの かつぱが すんでいました。

この かつぱは、ときおり きんじょのむらに  
おりては、たんぼや はたけの  
さくもつをあらすので、むらびとたちは  
とても こまっていました。

あるひ、むらの おぼうさんが、  
このかつぱの すむ いけに やってきました。





5

「おい かつばや。どうして おまえは、  
そんなに わるさばかり するのかね？」

すると いけのなかから、  
かつばが かおをだしました。

「じつは おいら、にんげんと  
なかよくなりたいたんだ。でも にんげんたちは、  
だれも おいらの あいてをしてくれない。  
それで はらがたって、  
ときどき いたずらをしてしまうんだよ」  
「そうだったのか・・・それなら もう  
わるさをやめて、なにか ひとのために  
なるようなことをしなさい。  
そうすれば、むらびとも おまえのきもちを  
わかってくれるかもしれないよ」  
「わかった、そうするよ！」

かつばは おぼうさんと、  
そう やくそくをしました。

